

し尿料金補助事業の見直しについて

①行財政改革大綱内容

別紙 実施計画

②し尿料金補助事業の内容・経緯

本事業は、下水道へ未接続の汲み取り式トイレ及び浄化槽の汚泥について、**定期的かつ適正処理を促進するため、処理料金の一部を補助する制度。**

- ・汲み取りを行わない場合、衛生リスクが高まる。
- ・処理料金が高額である場合、「未処理」や「不適正処理」が発生するおそれがある。

→そのため、処理料金の一部を補助し、適正処理を促進してきた。

③福津市における補助金制度の経緯

- ・津屋崎町 平成7年（1995年）施行
- ・福間町 平成10年（1998年）施行

→福津市 平成17年（2005年）1月の合併後、福津市補助金要綱附則「…当分の間、合併前の要綱等の例による。」に基づき、現在も旧町要綱で運用している。

＜旧町・福津市し尿処理手数料等補助金額＞

単位(円)

		種別	個人負担	補助額	計
福間町	人頭制	普通便槽（1人につき）	445	70	515
		クリーントイレ（1人につき）	535	70	605
	計量制	簡易水洗トイレ（18ℓにつき）	240	18	258
津屋崎町	人頭制	普通便槽（1人につき）	500	15	515
		クリーントイレ（1人につき）	590	15	605
	計量制	簡易水洗トイレ（18ℓにつき）	250	8	258
福津市	人頭制	普通便槽（1人につき）	465	50	515
		クリーントイレ（1人につき）	555	50	605
	計量制	簡易水洗トイレ（18ℓにつき）	240	18	258

※津屋崎町では、浄化槽汚泥の清掃に対する補助制度あり。（単独処理浄化槽・合併処理浄化槽別及び処理対象人員に応じ、1,024円～2,049円を補助）

④下水道の普及状況

<処理形態別人口の推移>

※令和 7 年度までは実績、令和 8 年度以降は「生活排水処理基本計画」から抜粋

	人口	下水道区域 内処理人口	未整備 人口	水洗化・生活雑排水処理人口			非水洗化・非生活雑排水処理人口		
				公共 下水道	合併処理 浄化槽	計	単独処理 浄化槽	非水洗化 人口※2	計
R3	68,085	67,676	409	61,836	2,720	64,556	1,056	2,473	3,529
R4	68,376	68,092	284	62,338	2,542	64,880	996	2,500	3,496
R5	68,749	68,543	206	63,452	2,299	65,751	931	2,067	2,998
R6	69,200	68,982	218	64,226	2,162	66,388	851	1,961	2,812
R7	69,528	69,273	255	65,395	1,610	67,005	842	1,681	2,523
R8	70,800			65,714	2,144	67,858	838	2,104	2,942
R9	71,300			66,464	2,039	68,503	797	2,001	2,798
R10	71,800			67,219	1,932	69,151	755	1,894	2,649

※1 計画処理区域内人口…住民基本台帳の人口

※2 普通便槽、クリートイレ、簡易水洗、自家処理

⑤汲み取りと下水道の料金比較

<月当たりの汲み取り料金と下水道料金>

	世帯人数	2人世帯				4人世帯			
		17	182	216	621	13	255	332	719
	R7 実績簡易水洗汲取量 (ℓ)	最小	中央値	平均	最大	最小	中央値	平均	最大
	下水道使用量 (m³)	10	15	15	20	20	24	24	35
	下水道料金 (円)	1,573	2,414	2,414	3,256	3,256	3,960	3,960	6,116
現在 津屋崎 補助あり	普通便槽 (円)	1,100				2,200			
	クリートイレ (円)	1,298				2,596			
	簡易水洗 (円)	275	3,025	3,300	9,625	275	4,125	5,225	11,000
現在 福間 補助あり	普通便槽 (円)	979				1,958			
	クリートイレ (円)	1,177				2,354			
	簡易水洗 (円)	264	2,904	3,168	9,240	264	3,960	5,016	10,560
補助が ない場合	普通便槽 (円)	1,133				2,266			
	クリートイレ (円)	1,331				2,662			
	簡易水洗 (円)	284	3,122	3,406	9,933	284	4,257	5,392	11,352

※下水道使用量は東京都水道局公表分を参照

⑥補助金廃止時の月額増加額

＜補助金廃止時の汲み取り方式の違いによる月額増加額＞

	2人世帯		4人世帯	
	津屋崎	福間	津屋崎	福間
普通便槽、クリートイレ	33 円	154 円	66 円	308 円
簡易水洗	9～308	20～693	9～352	20～792
簡易水洗※平均値	100	220	150	340

単位：円

⑦し尿処理補助金交付数

＜し尿料金補助交付者数 令和 8 年 3 月＞

地域	種別	人数	
津屋崎	人頭制（普通便槽）	31	
	人頭制（クリーン便槽）	111	
	計量制（簡易水洗）	87	
福間	人頭制（普通便槽）	120	
	人頭制（クリーン便槽）	196	
	計量制（簡易水洗）	296	合計 841 人

⑧市の負担

＜下水道事業とし尿処理事業に対する市の負担＞

	下水道（円）	下水道接続人口	一人当たり（円）	し尿（円）	し尿人口	一人当たり（円）
H30	661,370,000	57,471	11,508	111,737,000	7,631	14,643
H31	621,300,000	59,451	10,451	101,306,000	7,001	14,470
R2	617,071,000	60,643	10,175	104,233,485	6,596	15,803
R3	654,860,000	61,836	10,590	115,575,312	6,249	18,495
R4	705,475,454	62,338	11,317	115,792,076	6,038	19,177
R5	735,168,000	63,452	11,586	185,544,397	5,297	35,028
R6	740,958,000	64,226	11,537	115,928,546	4,974	23,307
R7	594,454,807	65,395	9,090	202,174,299	4,133	48,917
R8 予算	724,040,000	65,714	11,018	126,478,000	5,086	24,868

※し尿人口＝合併処理浄化槽、単独処理浄化槽、普通便槽、クリートイレ、簡易水洗の合計

※令和 8 年度人口は「生活排水処理基本計画」の推測人口

⑨本制度の問題点

○合併から 20 年以上経過しているにもかかわらず、旧町要綱を継続使用している。

○制度の目的である「適正な汲み取りの確保」は、現状では概ね達成されていると考えられる。

- ・ 汲み取りを行わない場合の衛生リスク
- ・ 料金が高額な場合の未処理・不適正処理の懸念。

○近隣自治体の状況

近隣自治体では、同様のし尿処理料金補助制度は確認できなかった。

（筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市、古賀市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、宗像市、糸島市、福岡市）